



ニュース NEWS

レター LETTER No.24

2009年10月27日

パッケージを一新！『世屋のお米』の発送が始まります。

世屋は、葉が色づきすっかり晩秋の頃を迎えております。長梅雨と短い夏に心配もありましたが、10月頭から始まった松尾の稲刈りも無事に済んでいよいよ世屋のお米を皆様にお届ける出来ることになりました。昨年度いただいたご意見から販売内容・パッケージの見直しを行いました。今年は収量が少なめだったため、お早めにご注文いただくことをおすすめしています。もちろん売上は運営資金になります。世屋を広く知っていただくためにも、営業活動のご協力の程よろしくお願致します。



ホームページのリニューアルを行いました！



8月にホームページの全面リニューアルを行いました。よりスムーズな情報発信を目指し、ブログや YOUTUBE による活動報告や映像の発信だけでなく、[活動予定]ページではリアルタイムにスケジュール表が見られるようになっています。ニュースレターでは間に合わない情報もホームページで確認いただきご参加いただきますようお願いいたします。

[映像 世屋人の暮らし]と[世屋の図鑑]では、会員の皆様に参加していただき、世屋のことを蓄積できる場所づくりを目指しています。「その場にいた人しか知らない」ではなく世代を超えて伝えるために、調べられる場、蓄積する場の整備は重要だと考えています。歴史・文化・樹木・植物など様々なあなたの知っている世屋の知識提供をお願いします。ご協力いただける方は事務局にご連絡いただければ、ご自宅での更新が可能になる ID の発行を行います。

会員相互の活動を尊重し、共生しながらネットワークを活かして世屋の地域づくりを考えようという設立理念に基づき[会員のこと]ページでは会員の方々の活動を紹介しています。HPをお持ちの方はリンクを貼らせていただいておりますが、HPがない方でも取組内容や連絡先が見られるように整備をすすめる予定です。「つながり」を示すためのページですので、フィールドが世屋でないけど…という会員さんでも結構です。載せても良いという方はご連絡をお待ちしています。
<http://www.npo-net.or.jp/seya/index.html>

会員の紹介



■□活動報告□■

にわ けんじ

ガンバル会員さん 自己紹介 ～丹羽建二さん

青いキャップ帽が目印の丹羽さんは宇治在住の世屋への通い人。「退職したら農業がしたい！」という長年の夢を叶えるために、おとしから下世屋にある奥様の実家のご両親と一緒に木子の国営農地で畑をされています。勉強会があれば顔を出し、先進地と聞けば足を運び…アクティブな丹羽さんは、「人のつながりが広がりそうや！」と2年前に会員になって下さいました。今ではすっかり世屋の一員です。

にわたりのこと

おはよう農園のにわとりこと丹羽建二です。

(長年地域の子どもキャンプに関わっているのですが) キャンプ場ではずっと前から「朝寝坊のにわとり」と呼ばれています。

只今、世屋で花の单身中。(じい・ばあの監視付きですが…) 生まれも育ちも信州・長野県です。いわゆる南アルプスと中央アルプスの間の伊他で育ちました。だからか高いところが大好きです。還暦までの主な仕事は土木屋さん。

国営農地の作付けのこと

木子国営農地での今年の作付けは

① **じゃがいも** (男爵・メークイン・キアガリ・アンゲスレッド)
種は市販でないとかんたんとう悟りました。

② **フルーツ畑** (サクラボ・アズ・ブルベリー・梨・ユズ・ビワ・コシアブラ)

雪と猪の害で大きくなるのはいつの事やら…

③ **黒大豆**

作り始めて3年目。猪とカラスとの戦いです。

④ **さつまいも・万願寺とうがらし**

商品化に最も近い作物?! おいしいのがいっぱい出来ました。

⑤ **とうもろこし**

堆肥くいだと知りました…。

⑥ **タラノメ**

この春に新駒と蔵王を各50本植えました。初雪が降る前に根元から切断します。

他にツツメトキ・ギンナを義父・勝一郎(89歳)が頑張っています。

イベント和火[やわらび]で焼き芋屋さんになった

本町商店街で(木子で育てた芋で)焼き芋屋さんをさせていただきました。最初はボチボチの売れ行

きだったのですが、まごころ月市の仲間・市役所の人と一緒に「いしや〜きいも〜」と声をかけると、若いお姉さんからおっちゃんまで大きいのを買ってくれました。冷蔵庫くらいのガス釜で、一番下の段に石を並べ上の段にサツマイモを並べて30~40分で出来上がります。途中、焼け具合を見ながら皮手袋でひっくりかえします。焼け具合は、割り箸を刺してみるのが分かり易いようです。売れ残ったら仲間と食べようと思っていたのですが…**完売!**

芋掘り無料体験のこと

芋掘りで紅色のサツマイモが顔を出すと、不思議と幸せな気分になります。子供達に体験してもらおうと思ったのは、これがきっかけです。いろんな人に勧められてその気になっていましたが、嫁さん(心優しい教師)のメールの一言で「ガン、ガン。「送り迎えはどうするの?近くにトイレはあるの?きれいに掃除しておきなさいよ。焼き芋したいと言われたら野焼き?釜で焼くの?…」検討したいただいた学校はあったのですが、今年は結局スケジュールが合わず、また来年も声掛けさせていただきたいと思っています。



木子国営農地で栽培されたおはよう農園のさつまいも(鳴門金時)を1キロ=400円で販売されています。お届け方法は要相談。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

「上世屋・高山ブナ林コースネイチャーガイド養成講座」を修了して

運営委員として関わっている宮津市エコツーリズム推進協議会主催のネイチャーガイド養成講座が2008年10月にスタートしてから1年の過程を終え先月16日に終了式が行われました。ガイド養成講座の受講生の中には安田会員のように新たに会員になって下さった方も数名おられ、計8名の会員が講座を修了しました。今後は里山案内人部会の設立を目指しています。

安田 潤 (京丹後市在住)

昨年の秋、新聞の丹後・中丹版にある記事が載りました。内容は、宮津市エコツーリズム推進協議会による大江山杉山と上世屋高山ブナ林のネイチャーガイド養成のための、一年にわたる講座開設と受講希望者の募集。第一回の説明会には、約40名ものかたが、参加されていました。そのうち高山ブナ林コースには、19名。小さな記事にもかかわらず、「上世屋高山ブナ林」の数文字に反応されたのは、当然のことながら日頃から、自然や里山に関心を持った人でした。例えば、Aさんは緑の少年団の指導者、Bさんはきのこの会の中心メンバー、山野草への関心の強いCさん、環境部門にかかわってきた行政マンのDさん、漁師の親から山の大切さを教えられたEさん等。「高山ブナ林や山里上世屋」は、この地域では神秘的な「奥山」なのです。季節的な、単発的な自然観察会でなくここ「丹後の奥山」をフィールドにした一年の研修は、大きな魅力ではないはずはありません。自然の理解を深め、さらにスキルアップを目指し、自然との接点、人との接点を太くしたいという思いは、共通していました。

そして、「日本のガイド100人」の1人、伊藤五美先生の指導の元、京都府自然環境保全地域の植物を中心に、座学研修、フィールド研修ふくめ、20回の講座を受け、メンバーほぼ欠けることなくこの10月、修了を迎えました。具体物とその四季の変容を見ながらの学習は、す〜っと胸に落ちて、学ぶことの初心に戻ったような感じを持ったのは、私一人ではないと思います。しかし、研修修了と同時に「ネイチャーガイド」になったとは当然ながら思いません。美山町自然文化村は芦生原生林のガイド北村欣也さんは「良い商品は、人を幸せにするものですが、そのためのガイドの役割は三つあります。一つは、地域の観光案内をする

ことです。一つは、環境保全に貢献することです。一つは、地域に経済効果をもたらすことです。」といわれています。第一ステージは、おもしろさと難しさが分かっただけで、北村さんが言われるそんなガイドが出来るのは、昆虫のこと、地質のこと、地誌のこと、農産品のことなど他の面からも研修を深めて、第四か五のステージ！否、もっとかかるのかもしれないと思っています。そのためにも、これから里山ネットワーク世屋の皆さんの取り組みの中に加えていただき一緒に、自然環境保全や里山再生の課題に取り組んで行かなければならないとは、受講者みんなの思いだと思います。

私？！わたしは今春、教員生活にピリオドを打ちました。退職後のことを思い描いていたころ私も、新聞でこの研修を知りました。初任は昭和47年。当時宮津中学校上世屋分校。子どもたちと、「小さいことはいいことだ！過疎を逆手に取ろう！」そんな発想を持って僻地教育に取り組んでいたことがよみがえってきて、応募した次第です。

この団体が地域から大きく期待され大切な活動をされていることにあらためて敬意を表します。ガイド研修受講者の

一人として、これから思い出多いこの山や里に何かしらかかわることが出来ればと思っ

ています。よろしくお願ひします。



■□イベント・会議のご案内□■

11/7(土) 14時～

運動会のカレーの準備

毎年恒例になってきた運動会でのカレー販売。今年は参加者が多いため例年の倍以上のカレーを仕込まなければなりません。お時間のある方はお手伝いをお願いします。お野菜のご提供をいただける方も大歓迎です！
場所：世屋地区公民館（下世屋）

11/8(日) 10時～15時

「世屋地区運動会と収穫祭」

一年に一度地区民が一同に集まるイベントです。

10時～ 個人/組対抗の運動会（景品もあるよ）

12時～ お昼休み（カレー販売応援隊求ム）

13時～ 青年塾による寸劇

14時～ 農産物を持ち寄って品評会

場所：世屋地区公民館 体育館

主催：世屋地区自治連合協議会、世屋地区公民館

11/15(日) 13時～16時

「地域探訪 紅葉のブナを訪ねて」

丹後縦貫林道より 30分くらいのところに見つけたブナ林を訪ねに行きます。

集合：13時 世屋高原家族旅行村駐車場

持物：汚れても良い服装、歩きなれた靴、帽子、手袋、

水筒、防寒着、カップ

申込：公民館主事 梅本悦二 0772-27-0091

主催：世屋地区公民館

11/20(土) 13時～15時

農産部会立ち上げの集い

農産物直売が珍しくないこの時代。生産者がお客さん

の顔を見ながら値段や売り方を学び「世屋で出来たものを食べたい！」というお客さん作りをしていこうという取組みを行う農産部会の立ち上げを行います。興味のあるかたはご参加下さい。

京都市の自宅で二ヶ月に一度、産業廃棄物処理業者に商品を提供して頂いてガレージバザーを開いています。毎回100名位のご近所の方が来て下さっていますが、来年から里山ネットワーク世屋の部会として提案した「農産物の直売」をここで取り組む予定です。世屋地区の農産物を京都で販売し、街と田舎を結びながら人の交流や事業を広げ世屋の再生を進めていきたいと考えています。（呼びかけ人：増田隆子）

場所：事務所ぶーたん



12/9(水) 9時～

ぶーたん雪囲い作業

いよいよ冬支度の季節。稲木をたてるように木を組んで透明の波板を竹で抑えてぶーたんの冬支度を行います。手があればあるほど作業が進むもの。ご参加・ご協力お願いします。

12/12(土) @大宮あぐりセンター

シンポジウム「自然と暮らす ～丹後からはじまるもうひとつの生き方」

詳細→ <http://shizen2kurasu.web.fc2.com/index.html>

NEWS LETTER ニュースレター No.24

発行：NPO 法人里山ネットワーク世屋 理事長 飯尾毅

〒626-0227 京都府宮津市字上世屋 560-1 TEL/FAX0772-47-3540 bhutan@mx.nkansai.ne.jp

編集：磯田有美恵

印刷協力：(株)飯尾醸造

発送：事務局ぶーたん